

## 長野大学新棟建設等特定基金 募集要項

- 目的** 新棟建設等に伴う学修環境の整備に充当
- 目標金額** 1億円
- 募集期間** 令和6年1月～令和8年3月31日
- 募集対象** 法人、団体、個人
- 寄附金額** 個人1口1万円、法人・団体1口5万円 ※口数・金額に関わらず、有難くお受けいたします。

## ご寄附の申込み方法

ご寄附は「銀行振込」あるいは「クレジットカード決済」にて受け付けております。

### 銀行振込の場合

**①お申込み**  
本学ホームページから「寄附申込書」をダウンロードしていただき、郵送又はFAXにてお申込みください。

**送付先**  
〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1  
長野大学 総務・企画グループ 経営・企画・財務担当 宛  
**FAX** 0268-39-0002

**②お振込み**  
寄附金の受入決定後、振込先が記載された寄附金受入書を送付いたします。お手元に届きましたら、指定の口座にお振込みをお願いいたします。

**③領収書等の送付**  
ご入金の確認から2～3週間程度で、寄附金受領証明書とお礼状を送付いたします。

### クレジットカードの場合

クレジットカードによるご寄附のお申込みは、本学が寄附の決済代行を委託している(株)エフレジが提供するF-REGI寄附支払いサイトでのお手続きとなります。本学ホームページより所定サイトにアクセスしていただき、お手続きください。

### ホームページURL

長野大学新棟建設等特定基金  
【寄附のお申込み方法】  
<https://www.nagano.ac.jp/outline/kikin/method/>



## 顕彰、特典

### 1.ご芳名の掲載

本学ホームページにご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。(ご芳名の掲載を承諾された方のみ)

### 2.銘板への刻銘

募集期間中、個人、法人・団体1口以上のご寄附をいただいた方には、新棟内に設置する銘板にご芳名を刻んで未永く顕彰させていただきます。(ご芳名の掲載を承諾された方のみ)

### 3.感謝状贈呈

募集期間中に個人で50万円以上、法人・団体で100万円以上のご寄附をいただいた方には、感謝状を贈呈させていただきます。

### 4.見学会への招待

新棟完成時に施設の見学会を開催し、ご寄附いただいた皆様を招待いたします。

## 税制上の優遇措置

### 寄附者が個人の場合

- 1. 所得税の控除**  
所得税法第78条第2項第2号により、その年に支出した寄附金の額(所得の40%が限度)から2千円を引いた額を、所得税の課税所得から控除することができます。
- 2. 個人住民税の軽減措置**  
都道府県・市区町村が条例で指定した寄附金については、個人住民税(都道府県及び市区村民税)の控除対象となり、金額等の30%を上限とする寄附金額について翌年の個人住民税が控除されます。公立大学法人長野大学新棟建設特定基金への寄附金は、長野県条例の指定を受けており、個人県民税の税額控除対象となります。上田市以外の市町村民税については、それぞれの市町村の条例により取り扱いが異なりますので、各市町村の税務担当課へお問い合わせください。

### 【税額控除の算出方法】

- 都道府県が指定している場合[寄附金額-2千円]×4%に相当する額
  - 市区町村が指定している場合[寄附金額-2千円]×6%に相当する額
- ※都道府県・市区町村の両方が指定している場合は、合計10%が控除されます。  
※個人住民税の寄附金税額控除手続きを円滑に行うため、各自治体の要請に応じ、寄附者様の名簿をお住まいの市町村へ提供させていただくこととしておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

### 寄附者が法人の場合

法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。

### 優遇措置を受ける手続きについて

確定申告期間に長野大学が発行した「寄附金受領証明書」を添えて税務署に申告してください。住民税のみを受ける場合は各市区町村に申告してください。なお、「寄附金受領証明書」は寄附金の入金確認から2～3週間程度で送付いたします。

### 個人情報の取扱いについて

長野大学では、個人情報保護法に基づき、寄附のお申込みの際にいただいた個人情報については、厳重に保護・管理し、基金事業にかかわる業務以外では使用いたしません。

## 〈 お問い合わせ 〉

公立大学法人長野大学経営・企画・財務担当 〒386-1298長野県上田市下之郷658-1

TEL) 0268-39-0220 FAX) 0268-39-0002 E-mail) [kikaku@nagano.ac.jp](mailto:kikaku@nagano.ac.jp)

**長野大学**  
**新棟建設等特定基金**  
**ご支援のお願い**



新棟南面のイメージ

# 長野大学新棟建設等 特定基金へのご支援 のお願い

長野大学は、「地域社会との密接な結びつきにより学問理論の生活化をめざす」という建学の精神のもと、1966年(昭和41年)の創立以来、15,000人を超える人材を輩出し、地域社会の発展に貢献してまいりました。

2017年(平成29年)の公立大学法人化以降は、新たな地域課題や社会ニーズに応えるための理工系学部新設と学部学科再編構想の検討に着手し、2026年(令和8年)4月の開設を目指して準備を進めています。

本学は、この構想を実現させるため、新たなランドマークとなる新棟の建設を計画し、2023年(令和5年)3月に「公立大学法人長野大学 新棟建設事業基本計画」を策定しました。この新棟は、キャンパスの新しい顔として、先進的な教育研究施設となると同時に、学生や地域社会、地域産業との交流の場としての魅力を備えた建物にすることを目指しています。

しかし、この計画を成功させるためには、多大な資金が必要となります。そのため「長野大学新棟建設等特定基金」を設立し、皆様のご支援をお願いすることにいたしました。本学が進める大学改革を着実に実行し、学生、卒業生、地域の皆様が誇りに思える大学を目指して一層の努力を重ねてまいりますので、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



公立大学法人長野大学  
理事長  
平井利博

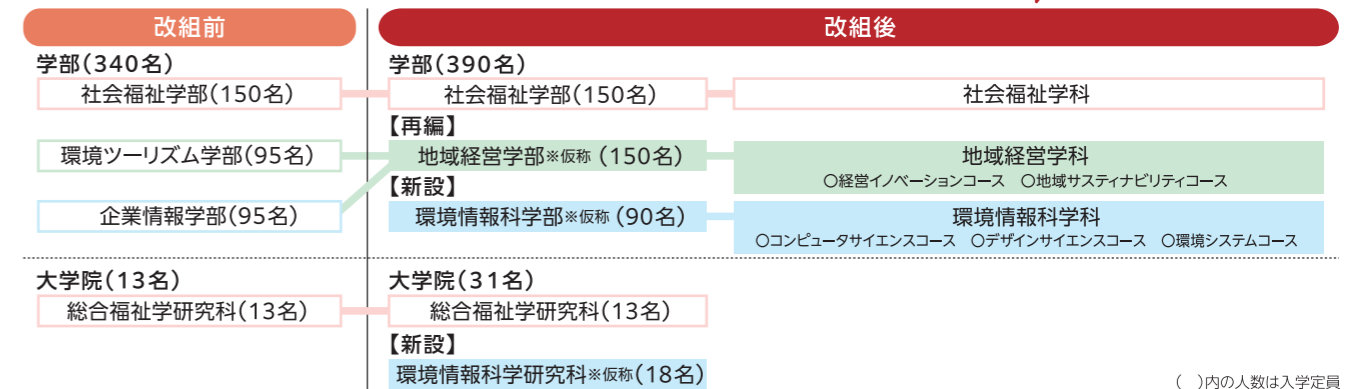


長野大学  
学長  
小林淳一

## 情報系学部の設置と学部学 科再編構想 ~次代を生き抜く人材育成~

2026年4月開設 設置構想中

- 情報系の理工系学部を新設し、情報学における最先端技術とデジタルトランスフォーメーション(DX)及びグリーントランスフォーメーション(GX)に関する専門知識を併せ持ち、AI時代を生き抜くための教養と倫理観を備えた人材を育成します。
- 環境ツーリズム学部と企業情報学部の特長を活かしたシナジー効果で地域協働型教育を強化し、サステナブルな社会の実現に向けてイノベーションを創出できる人材を育成します。
- 全学部共通の教養教育として、数理・データサイエンス・AI教育を含むSTEAM教育を展開し、学生たちが正確な情報を活用し、自らの判断で将来の方向性を見極める能力を養成します。



### 長野大学 新棟建設プロジェクト (基本計画抜粋)

#### 新棟の規模・構造等

- 1) 構造 / S造
- 2) 階数 / 6階建て
- 3) 延べ面積 / 約6,900㎡

#### 新棟の階構成

##### 1階 厚生フロア

前面道路に面して開かれた学生食堂を設け、地域との交流を促します。売店を設け、学生たちの利便性の向上を図ります。平面の中央にステッププラザを設け、学内での発表やイベントといった多機能に使える、キャンパスの中心となる場所をつくります。

##### 2階 学生ラウンジ・大教室

1号館・5号館と渡り廊下・ブリッジでつながり、動線となる部分に学生の憩いの場となる学生ラウンジをつくります。南面には全学が利用できる大教室を設けます。

##### 3~4階 新学部 コラボレーションフロア

コース専門教育を行う実験室のほか、PBL型教育※1を行うワークショップ・アトリエやCG演習室を設置します。

##### 5~6階 研究フロア

研究フロアとして、研究室、実験室や、研究室間の創発を促進するオープンラボ等を整備します。ラウンジを設け、研究活動の合間に学生同士の交流を促し、憩える環境も整備します。

※パースは基本計画で作成したイメージであり、今後の計画の進行により変更となる可能性があります。

#### 新棟のコンセプト

##### 1 シンボリックなキャンパス / キャンパスの顔を作る

新学部が目指す新しい学部・学科のあり方を体現しつつ、長野大学の全学生が使える中心的な施設を作ります。施設内には学生の居場所となるラウンジのほか、低層部に地域に開かれた交流ゾーンを整備します。また、産学連携・社会連携が可能なコラボレーションフロアを整備します。

##### 2 交流の場をつくる

- ①塩田平の景観を象徴的に取り込む  
日本遺産にも登録される場所として、信州上田・塩田平のシンボル(独鈷山)に向かう景観軸を意識し、ラウンジ等を整備します。
- ②学内交流を生み出すステッププラザ  
交流ゾーンの中央に位置するステッププラザで、イベント的に学内交流が生み出せる設えとします。学生食堂や学生ラウンジと隣接し、日常的な学生の憩いの場をつくります。

##### 3 高低差を生かした「丘のキャンパス」

新棟は高低差のある敷地の中央に位置し、1号館・5号館へとエレベーターを介して接続することで、前面道路からのキャンパス内を行き来する上での結節点となります。新棟は地域や学生を迎え入れ、既存の建物とつながる「丘」のような場所となり、「丘のキャンパス」として長野大学のキャンパス全体を再整備します。

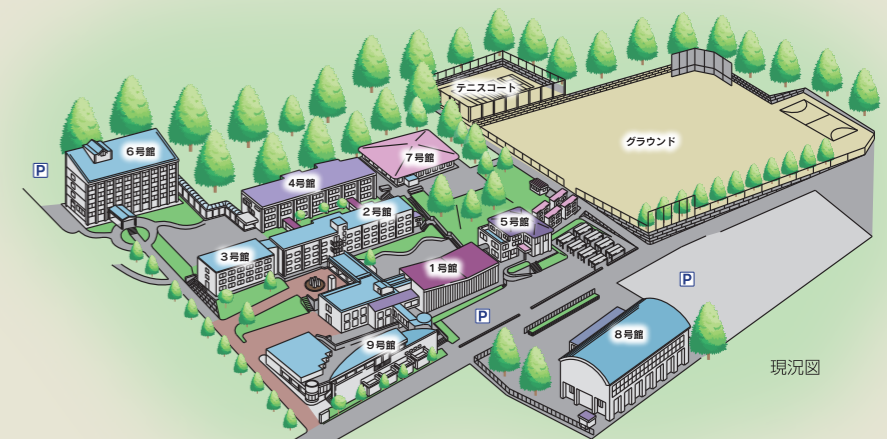


敷地全体のイメージ

#### 既存施設の整備の方針

学部の再編計画と併せ、現在の既存施設における現状や課題を踏まえ、新棟の整備とともに、既存施設も改修する計画としています。理工系学部校舎整備に併せて、キャンパスライフの充実を最優先とした学生食堂やラウンジ・アクティブラーニング※2などの機能を新棟に移転します。既存校舎は再編し建物ごとに機能集約、用途変更を行います。

- 1号館 一部を取壊し、新棟を新築する用地を確保します。また、キャンパス全体に分散する事務機能を集約し、併せて理事長室・学長室・応接室等を改修・整備します。
- 2号館 事務室の集約移転に伴い、跡地を改修し、教室等を整備します。
- 4号館 情報処理学習機能を5号館へ移転するに伴い、施設の安全を向上させるために外部階段を新設します。
- 5号館 改修を行い、全学が利用できる情報処理学習室を整備します。また、トイレ等の水廻りの改修とともに、バリアフリーの観点から、新棟との接続に係ってエレベーター、階段を設置し、車いす利用者でも、前面道路から5号館の各階にアクセスできるように改修を行います。
- 6号館 事務室移転に伴い研究室を集約したうえで、書架を備えた書庫、ラウンジ等に改修を行います。



現況図

※1 PBL型教育: PBLはProject Based Learning の略で、課題解決型学習とも呼ばれる。学生自らが課題を見つけて解決していく中で、解決能力や実践能力が育まれる教育法。

※2 アクティブラーニング: 学習者が主体となって能動的に学習活動を行う学習方法及びその学習の場。